

季節のたんけん

☆身近な自然とかかわり合う楽しさを感じながら、自然の不思議さや面白さを実感する学習活動

《場 所》

沢渡川緑地公園

(自由ヶ丘公園)

※ ちくりん公園として親しまれている。

・学校から徒歩10分弱

・身近な自然という目標に合っていることから選定



はるたんけん

☆ 「聴覚」と「嗅覚」に焦点を合わせ、「目に見えないもの」に対する想像力と自由な発想を広げていく。

- ・「みどりのおとがするものをさがそう」
- ・「ふしぎなおいがするものをさがそう」
- ・「きもちのいいばしょをさがそう」
- ・「さわたりがわこうえんでみつけたよ」

常磐大学との連携

「沢渡川流域の環境教育プログラムの開発」
人間科学科 : 小関一也 先生

☆小学生と保護者、大学生、大学教職員が、共に身近な環境を体感し、考え、協力して行動できる参加・体験型環境教育とのタイアップ！

《連携の方法》

- ・生活科単元「はるたんけん」「なつたんけん」のカリキュラムデザインの開発
- ・ワークショップの講師を小関一也先生に担当・依頼
- ・活動に応じた常磐大学生の参加
- ・五感を駆使して多様なものの見方を育成する体験型ワークショップの実施
- ・安全面を含めた、事前事後の話し合いの充実



なつたんけん

☆ 見る視点を提示し、細部までくわしく観察をする。また、宝探しのような楽しさを味わう。

- ・“ハンカチの木”をさがそう
- ・“ハンカチの木”をかんさつしよう
- ・ようせいさんがすんでいそうな場所をさがそう
- ・はるとのちがいをみつけよう！



成果と課題

- ◎児童たちの体験の多様さが表現の広がりにつながった。
- ◎ペアワークでの活動や話し合いが探求心向上として現れていた。
- ◎身近な自然と関わり合う楽しさが学習の深化に繋がった。
- △“あき・ふゆたんけん”に向け、児童達の気付きを踏まえて企画する。